令和8年度

# 学 力 向 上 プ ラ ン

# 【後期】

上尾市立平方小学校

# 上尾市立平方小学校 学力向上プラン「グランドデザイン」

## 学校教育目標

**心豊かでたくましく　共に生きる子ども**

〇進んで学ぶ子　〇共に生きる子

〇明るくたくましい子

## 学校課題研究主題

**「発達段階に応じた『知る』『深める』『内省する』９ 年間の道徳教育」**

~きまりの意義を理解し、自らを律することのできる児童生徒の育成を目指して~

## 学力・学習状況調査の結果

| R８全国学力・学習状況調査 | R８埼玉県学力・学習状況調査 | R７ 上尾市立小・中学校学力調査 |
|---|---|---|
| ・国語、算数で正答率が全国平均を下回っている。<br>・国語、算数共に、知識・技能は平均に近いが、思考・判断・表現の正答率が低い。<br>・国語、算数の記述式問題の正答率は全国平均を下回っており、特に算数の正答率は全国平均 48.5%より 4.7%下回った 43.8%であった。 | ・国語、算数ともに、学力レベルが県平均と比べると全体的に下回っている。<br>・記述式の正答率に課題が見られるが、国語と算数を比較すると、算数の記述式の方がより正答率が低い結果が出ている。<br>・どの学年も認知的方略の値が、県平均と同等である。 | ・国語では全学年を通して、文章の要約の記述や、指定された長さや構成を考えて文章を記述することに課題がある。<br>・算数では、学年が上がるにつれて、四則演算の定着に課題が見られた。特に、小数・分数の乗法、除法に課題がある。 |

## 本校で身に付けさせる学力

| 知識及び技能の習得 | 思考力・判断力・表現力等の育成 | 学びに向かう力・人間性等の涵養 |
|---|---|---|
| ①各教科において習得する知識や技能を確実に習得する力。<br>②既習の知識をもとにして、新たな知識を学習する力。 | ③体験から学び取ったことと自分の考えを結び付け、筋道を立てて表現する力。<br>④記述されている内容から事実を正確に理解する力。 | ⑤課題に対して意欲をもち持続して取り組む力。<br>⑥自身の学習活動のふり返りから学習課題を見付け、今後の学習の見通しをもつ力。 |

## 学力向上のための授業改善

| 知識及び技能の習得 | 思考力・判断力・表現力等の育成 | 学びに向かう力・人間性等の涵養 |
|---|---|---|
| 〇繰り返し試すことができる学習の場（試行錯誤）<br>〇学習規律を整える<br>〇教科担任制の充実<br>〇視覚的に分かりやすいようにポイントを焦点化する | 〇ＩＣＴ端末の活用<br>〇意図的な言語活動場面の設定<br>〇体験から感じ取ったことを表現する活動の計画への位置付け<br>〇ペア、３人組、グループでの話合い活動の実施<br>〇実際の生活場面を想定した学習 | 〇「分かる」授業づくり<br>〇道徳教育の充実<br>〇自己有用感の育成<br>〇子どものよさを認め、伸ばす「ほめる教育」の実践<br>〇児童自身の自己調整力を伸ばす振り返り活動の充実 |

| 本校の特色ある取組 | 家庭教育との連携 |
|---|---|
| 〇週３日の１０分間朝読書　〇交流教育の実施<br>〇３０分間の業間休みでの外遊びを通した体力向上<br>〇黙動(働)の取組<br>〇教科担任制の充実 | 〇さくら連絡網を活用し、学校協力活動へのボランティアを募る<br>〇ＩＣＴ端末による家庭学習 |

## ２　学力向上を図る取組

### （１）各教科の授業における取組（低学年）

**本校で身に付けさせる学力**

| 知識及び技能の習得 | 思考力・判断力・表現力等の育成 | 学びに向かう力・人間性等の涵養 |
|---|---|---|
| ①各教科において習得する知識や技能を確実に習得できるようにする。<br>②既習の知識を活用して、新たな知識を学習できるようにする。 | ③体験から学び取ったことと自分の考えを結び付け、筋道を立てて表現できるようにする。<br>④記述されている内容から事実を正確に理解できるようにする。 | ⑤課題に対して意欲をもち持続して取り組めるようにする。<br>⑥自身の学習活動のふり返りから学習課題を見付け、今後の学習の見通しをもてるようにする。 |

| 教科・領域 | 重点的に身に付けさせる学力 | 具体的な取組 | 成果 |
|---|---|---|---|
| 国語 | ① | ①音読、ひらがな、カタカナ、新出漢字等を繰り返し練習する取組。 | |
| 算数 | ②、④ | ②計算カードを繰り返し練習する取組。<br>④文章問題では、単位や分かっていること、聞かれていること等に印を付けさせる取組。 | |
| 生活 | ③ | ③「生活科カード」に学んだこと、気付いたこと等を記入させる取組。 | |
| 音楽 | ① | ①鍵盤ハーモニカを繰り返し練習する取組。<br>①リズム楽器が正しく使えるように繰り返し練習する取組。 | |
| 図画工作 | ⑤ | ⑤課題を明確にし、準備物を揃え、導入の工夫と、活動中の声掛けを得ながら、自分の作りたいものを最後まで作り上げる取組。 | |
| 体育 | ⑥ | ⑥振り返りカードに、自分のできたことや課題等を記述し、次に生かそうとする取組。 | |
| 英語活動 | ⑤ | ⑤課題を明確にし、英語を使って、相手と積極的にコミュニケーションを取ろうとする取組。 | |
| 特別の教科　道徳 | ⑥ | ⑥道徳ノートに自分の考えを記述したり、発表したりして、今後に生かそうとする取組。 | |

**Ａ･･･取組の効果が十分に見られた　Ｂ･･･今後も課題として取り組む　Ｃ･･･取組を見直す**

## ２　学力向上を図る取組

### （１）各教科の授業における取組（中学年）

**本校で身に付けさせる学力**

| 知識及び技能の習得 | 思考力・判断力・表現力等の育成 | 学びに向かう力・人間性等の涵養 |
|---|---|---|
| ①各教科において習得する知識や技能を確実に習得できるようにする。<br>②既習の知識を活用して、新たな知識を学習できるようにする。 | ③体験から学び取ったことと自分の考えを結び付け、筋道を立てて表現できるようにする。<br>④記述されている内容から事実を正確に理解できるようにする。 | ⑤課題に対して意欲をもち持続して取り組めるようにする。<br>⑥自身の学習活動のふり返りから学習課題を見付け、今後の学習の見通しをもてるようにする。 |

| 教科・領域 | 重点的に身に付けさせる学力 | 具体的な取組 | 成果 |
|---|---|---|---|
| 国語 | ①、③、④ | ①国語辞典の活用の習慣化。<br>③、④重要な語句にサイドラインを引かせる。文末表現、キーワードを発見させる。 | |
| 社会 | ②、③ | ②地図帳と関連付けながら、学習を進めていく。<br>③根拠となる資料を選択し自分の言葉でまとめる活動をする。 | |
| 算数 | ①、④ | ①ドリル（デジタルを含む）等を活用し年間を通した復習。<br>④問題文から必要な計算を考えさせる。 | |
| 理科 | ③ | ③実験の予想と結果から、何故そうなったのかを考えさせる。考察時に話し合いの場を設ける。 | |
| 音楽 | ①、⑤ | ①音楽を形づくっている要素に着目し、演奏技能に生かすことができるようにする。<br>⑤最後まで諦めずに演奏できるようにする。 | |
| 図画工作 | ①、⑥ | ①新しい技法を身につける。<br>⑥できた作品を鑑賞し合う。 | |
| 体育 | ①、③ | ①技や運動のポイントを動画等で紹介する。<br>③友達のよかった動きやこうした方がよくなるポイントを伝え合う時間を設ける。 | |
| 外国語活動 | ⑤ | ⑤外国語の活用場面を想定しながら、自分の考えを発表させる。 | |
| 特別の教科　道徳 | ③、⑥ | ③「自分だったら」という視点で発表をさせる。<br>⑥自身の生活に活かせるような振り返りを書かせる。 | |

**Ａ･･･取組の効果が十分に見られた　Ｂ･･･今後も課題として取り組む　Ｃ･･･取組を見直す**

## ２　学力向上を図る取組

### （１）各教科の授業における取組（高学年）

**本校で身に付けさせる学力**

| 知識及び技能の習得 | 思考力・判断力・表現力等の育成 | 学びに向かう力・人間性等の涵養 |
|---|---|---|
| ①各教科において習得する知識や技能を確実に習得できるようにする。<br>②既習の知識を活用して、新たな知識を学習できるようにする。 | ③体験から学び取ったことと自分の考えを結び付け、筋道を立てて表現できるようにする。<br>④記述されている内容から事実を正確に理解できるようにする。 | ⑤課題に対して意欲をもち持続して取り組めるようにする。<br>⑥自身の学習活動のふり返りから学習課題を見付け、今後の学習の見通しをもてるようにする。 |

| 教科・領域 | 重点的に身に付けさせる学力 | 具体的な取組 | 成果 |
|---|---|---|---|
| 国語 | ①、④ | ①新出漢字とそれに関連した語句を確認し理解する取組。<br>④文学的文章の場面と場面、説明的文章の段落と段落等の関係を明確にして文章を読み取る取組。 | |
| 社会 | ②、⑤ | ②前単元、前時の学習内容を活用して、次時の学習へと繋げ、探求心が湧くように導入を工夫する。<br>⑤児童が学びたいと思うような魅力的な課題を設定したり、ICT 機器を活用したりする。 | |
| 算数 | ①、② | ①授業の冒頭に、四則計算やその単元に関わる基礎的な計算を取り入れる。<br>②単元にかかわる既習事項を繰り返し復習し、本時の内容により組みやすくする。 | |
| 理科 | ②、③ | ②前単元、前時の学習内容を活用して、次時の学習へと繋げ、探求心が湧くように導入を工夫する。<br>③結果をまとめる時に、自分の予想や実験の結果を自分の言葉でまとめるようにする。 | |
| 音楽 | ①、⑤ | ①音楽を形づくっている要素に着目し、自分たちの演奏に生かすことができるようにする。<br>⑤友達とともに歌ったり演奏したりする喜びを味わわせる。 | |
| 図画工作 | ⑤ | ⑤作品のゴールをイメージさせ、あきらめずに活動させる。 | |
| 家庭 | ①、⑤ | ①地域の人材を積極的に活用し、調理や裁縫などの知識・技能の確実な習得を図る。<br>⑤学校で学んだことを生活改善に生かしていけるようにする。 | |
| 体育 | ①、③ | ①運動が苦手な児童でも知識・技能が習得できるようにスモールステップを組んだり、教材、教具を工夫したりする。<br>③掲示物や ICT 機器を活用し、ポイントを焦点化させ、話し合いを活性化させる。 | |
| 外国語科 | ②、④ | ②前学年、前単元で学んだことを想起させて、本時、本単元の学習に入る。<br>③授業の冒頭に児童が主体的に取り組めるような魅力的な課題を提示し、言語活動を充実させる。 | |
| 特別の教科　道徳 | ③、⑤ | ③児童の実態に合うような具体例を提示し、自分事として考えられるようにする。<br>⑤学校で学んだことを実生活とリンクさせる。 | |

**Ａ･･･取組の効果が十分に見られた　Ｂ･･･今後も課題として取り組む　Ｃ･･･取組を見直す**

## （２）教育活動全体を通じた取組

| 本校の特色ある取組 | |
|---|---|
| ◆読書活動 | ○週３日の１０分間朝読書（月、火、木）<br>○月に１度の教職員による読み聞かせ |
| ◆交流教育 | ○近隣幼稚園・保育所との連携交流<br>○縦割り班活動による異学年交流 |
| ◆３０分間の長い業間休み | ○外遊びを通した体力向上<br>○充実した集会活動の時間の確保 |
| ◆黙動(働)の取組 | ○黙動…静かに落ち着いて教室移動を行う<br>○黙働…落ち着いて清掃活動に取り組む |
| ◆授業形態の工夫 | ○教科担任制の充実(５年生以上) |
| **家庭教育との連携** | |
| ◆地域と連携した教育活動<br>・学校応援団<br>・ＰＴＡ<br>・学習支援ボランティア | ○保護者による学習支援。<br>例)・家庭科の調理実習やミシン実習<br>・生活科の学区探険等の引率　等<br>○ＰＴＡ本部、学校応援団を中心としたＰＴＡによる学校行事、特別活動行事の運営補助<br>○地域の防犯パトロール、保護者による児童の登下校の安全確保・見守り |
| ◆ＩＣＴの効果的活用による連携 | ○欠席児童に向けたＩＣＴ端末による双方向オンライン学習<br>○ICT 端末による家庭学習（3 年生以上）<br>○地域学校保健委員会などの行事におけるオンライン参加の実施。 |